

# 新型コロナウイルス感染症に伴う PCR等検査の抜本的拡充と 住民支援策の拡充を求める決議(案)

西澤議員が建部議員と連名で臨時議会(3日開会)に向けて提出した決議案です。感染状況の変化によって、若干変更される可能性があります。

東京・名古屋・大阪など都市部を中心に新型コロナウイルス感染者が増え続け、全国的に急拡大し感染経路不明のケースも多数見られるとのことです。滋賀県でも7月22日は1日の新規感染者数としては過去最多の17人となり、甲良町での感染者が発表されました。

6月は緊急事態宣言と政府の自粛要請に応えた県民・町民の努力で一定の成果を見ましたが、7月に入り一気に新規感染者は増え続け、7月からの感染者は62人にのぼり、7月29日現在163人となりました。県内でもクラスターの発生、入院患者や病院勤務医などの感染者が、また甲良町では小学生の感染が確認され、住民の中に衝撃と不安が大きく広がっています。

厚生労働省は7月15日、保健所がおこなう行政検査の対象を拡大する方針を出しました。全ての市町でPCR等検査を抜本的に拡充し、無症状感染者を早期に保護・隔離・治療し、感染を広げない取り組みが緊急に求められる状況です。これは、社会経済活動・学校教育などを安心して再開する上でもカギとなる課題だと考えます。

同時に町民の暮らしと生業・営業を応援する住民支援対策の更なる充実が求められます。

甲良町議会6月定例会において、野瀬町長が新型コロナウイルス感染症に伴う住民支援対策第4弾の策定を進めると表明されました。

以上のことから以下の事項を実行されるよう強く求めるものです。

## 記

- 1 消費税10%、コロナ危機などによって町民の暮らし、営業は大変厳しい状況が続いています。町民の実態・声を町政に反映するため、町民に緊急アンケートを実施すること。
- 2 上水道の基本料金免除を数か月間延長すること。
- 3 障がい者、非正規雇用の労働者、ひとり親家庭など、社会的・経済的弱者に対する支援策を新設および上乗せし拡充すること。

## 甲良民報

2020年8月2日 798号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士373(西澤)  
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

4 農業者(道の駅の出荷者を含む)へ

の支援を上乗せ拡充すること。

- 5 税・保険料の軽減策を講じること(固定資産税を一括して納付した方には算出基準で返金すること)。小零細業者の経営を支援するため家賃、借入利息、リース代など固定経費を補助すること。
- 6 子どもたちの学ぶ権利および健やかな「心・体」の成長を保障するため「文科省事務連絡」(2020年2月25日)に基づき設置者の自主的判断を貫くこと。
- 7 感染拡大防止の効果を高めるため「3密」を回避する少人数学級教育を徹底するための教員配置・予算を確保すること。
- 8 現在の感染急拡大を抑止するには、自粛要請だけではなく、PCR等検査を文字通り大規模に実施し、陽性者を保護・隔離・治療する取り組みを強化する以外になく、国・県に対して次の事項を強く要請すること。
  - (1) 感染が疑われる地域、団体、施設、職場等の全ての人に速やかなPCR等検査を実施するなど積極的・抜本的な検査戦略を確立すること。
  - (2) 医療、介護、福祉、保育、教育など全ての従事者及び入院患者・入所者にPCR等検査を速やかに実施できる制度・環境を整備すること。
  - (3) 感染が疑われるなど一定の基準でPCR等検査を希望する住民には公費で検査を実施できる環境を整備すること。

## 3日から臨時議会

甲良町内でコロナ感染者が確認され、感染抑止と暮らし・営業支援の課題がより切実に迫ってきました。◆6月議会で町長が表明した「第4弾」が提案されます。支援策＝①事業資金を借入した小規事業主に一律10万円を支援 ②小中学校の校外学習に「密」回避のためバス借り上げ台数割増 ③各自治会に臨時交付金約3,970万円を支給＝3事業合計約5,100万円の予算を計上。③に関しては「コロナ対策を字に任せるのか?!」と町の姿勢が問われます。◆議員報酬の1割3カ月減額する条例改正案も西澤議員他から提出されました。◆日程＝3日：開会、7日：予算決算委員会・総務民生委員会、12日：閉会⇒いずれも9時開会